

柳沢の焼け八幡

団体名称 柳沢若者講

指 定 宮城県指定無形民俗文化財 平成8年12月25日

概 要

宮崎地区の柳沢集落に伝わる小正月の行事で、古くは1月14日午後から15日早朝にかけて行われていましたが、現在は1月の第2土日にかけて行われています。

この行事では、まず1日目の夕方に、八幡神社の前に12束のわらを束ねて作られた「トウロウ」に火をつけて、その年の月々の天候を占います。2日目の早朝に、若者たちが集落の家々を訪れて、嫁や女性の顔にかまど墨を塗りつけて神の加護を願います。そして朝6時頃に、八幡社前で笹竹とわらで作った「オコヤ」（御小屋）を勢いよく燃やして当年の作柄を占います。

この行事は、開始時期は不明ですが、正月の神を迎えるとともに、火難除け、五穀豊穡、家内安全を折願するきわめて貴重な小正月行事とされています。

